

平成26年度
事 業 報 告 書

公益財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会

平成26年度 西日本産業貿易コンベンション協会 事業報告書

I 公1：見本市・展示会事業（公益目的事業）

1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。展示会等を取り巻く環境変化に対応するため、平成25年度より事業統廃合を進めると同時に、地域振興施策の展示会やイベントの活用、ビジネス取引拡大の場づくりなど事業の再構築を行っている。

◆当協会が主催・共催した主な見本市・展示会

() 内は25年度実績

事 業 名	開 催 期 日	入 場 者 数	出 展 社 数
西日本インポートフェア2014	5月2日 ～6日	48,298人 (49,105)	194社・団体 (215)
西日本製造技術イノベーション2014	6月18日 ～20日	15,203人 (15,769)	46社・団体 (47)
			23社・団体 (28)
第40回ふくおか産業技術振興展			
第36回西日本陶磁器フェスタ	9月19日 ～23日	49,855人 (56,931)	205社 (195)
エコテクノ 2014			98社・団体 (134)
エコ・ベンチャー・メッセ2014	10月8日 ～10日	33,420人 (29,651)	36社・団体 (38)
中小企業テクノフェア in 九州2014			64社・団体 (46)
再生可能エネルギー先端技術展2014		20,538人 (20,051)	113社・団体 (83)
P.P.C.2014 第16回西日本国際福祉機器展	11月7日 ～9日	26,406人 (20,712)	130社・団体 (108)
合 計	9事業 (11事業)	193,770人 (192,219)	909社・団体 (914)

※25年度の出展社数の合計は九州・国際テクノフェア2013（20社・団体）を含む。



西日本インポートフェア2014



第36回西日本陶磁器フェスタ



エコテクノ2014



第16回西日本国際福祉機器展

【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の再構築

各展示会の目的や意義と社会・経済情勢などを勘案しながら、常に開催内容を見直しつつ、関心を高める努力を行った。

○「西日本製造技術イノベーション」におけるロボット産業振興の取組み

北九州市が推進する「産業用ロボット導入支援補助金」の紹介や地元中小企業への産業用ロボットの普及促進を目的とした特別展示、セミナーを開催した。

○4事業を同時に開催

例年秋季に二期に分けて開催していた「エコテクノ／エコ・ベンチャー・メッセ」、「中小企業テクノフェア」と「再生可能エネルギー先端技術展」を同時開催し、来場者の増加を図った。

また、「エコテクノ」と「再生可能エネルギー先端技術展」は、一つの展示会として開催することを関係者間で合意し、2015年からの一体開催にむけて協議をすすめていく。

○「エコテクノ」出展内容の拡大・強化

「先端農業・植物工場推進コーナー」を九州農業成長産業化連携協議会との共催でエコテクノのフェアインフェアとして開催した。

イ 国際化の推進

国内市場が縮小するなか、海外との取引拡大の機会提供に注力した。

○エコテクノ2014国際環境ゾーン

環境を軸とした産業の活性化に寄与することを目的に、エコテクノ2014において国際環境ゾーンを開設した。海外企業6社、1団体と海外投資支援機関2機関の出展により、商談と情報発信を実施した。

ウ 成果のあがる展示会の構築

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、ビジネスマッチングの精度や確度を高めた。

○中小企業テクノフェアin九州2014 ビジネスマッチング事業

大手企業OBの技術者で構成する「NPO法人北九州テクノサポート」による、中小企業テクノフェア出展社と地元企業とのビジネスマッチングを促進した。

○製造技術マッチングフェア（商談会）の開催

「西日本製造技術イノベーション」、「ふくおか産業技術振興展」、「ロボット産業マッチングフェア北九州」の出展社を対象に、マッチングについては福岡県中小企業支援センターの協力を得て開催した。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。

(119テーマ、参加者数6,532人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) アジアとの連携・交流

ア アジアの関係団体等への展示会出展誘致活動の充実

エコテクノに韓国大田広域市の福岡通商事務所を通じて韓国の環境系企業5社が出展し、エコテクノへの出展企業や来場企業との商談を実施した。また、韓国BEXCO（釜山国際展示場）の主催する「ENTECH釜山」とのブース交換により韓国企業1社が出演した。

その他、西日本製造技術イノベーション2014においても（公財）福岡県中小企業振興センターを介して韓国大田広域市より12社・団体が出演した。

イ 北九州市アジア低炭素化センターとの連携

エコテクノ会期中、アジア低炭素化センターと協力して、環境技術の輸出促進や国際競争力を強化することを目的に、「タイ環境ビジネスセミナー～エコ・インダストリアルタウン構想への事業参入を目指して～」を実施した。

(3) 新規見本市の開催

ア SAFETEC 2015 第1回西日本防災・防犯危機管理展

27年11月19日から21日の開催に向けて、共同主催者である日刊工業新聞と協議を行った。最新の防災、減災、防犯及び危機管理に関する製品・技術・サービスの展示紹介や、北九州市と共に一般市民の防災意識の啓発を図るコーナーの設置やセミナー等の企画、準備を行った。

イ 九州ヘルスケア産業推進協議会

「製造技術イノベーション2014」において、九州ヘルスケア産業推進協議会と、モノづくりの技術を応用して進められる「医歯工連携・医療機器産業参入」をテーマに、記念セミナーを開催した。

また、「QCサークル活動…今こそ、人間力が求められる」「自動車産業における人財育成の考え方」をテーマに、セミナーを行った。

II 公2：会議・大会等（公益目的事業）

1 誘致・支援事業

(1) 都市間のMICE誘致競争が年々激化している中、北九州市の活性化に寄与し、多大な経済効果が見込める各種の会議・大会等を誘致するため、積極的、かつ計画的に誘致活動を行った。

北九州市の開催支援制度を活用した誘致活動では、大規模な国際会議や全国規模のスポーツ大会等を多数誘致することができた。

なお、観光庁が作成した「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、26年度の当協会の誘致案件のみによる経済波及効果（間接2次波及効果、雇用効果を含む）の推計値は25年度（85億円）を上回る109億97百万円であった。

◆年間別開催件数の推移

(単位：件)

区分	国際	全国	その他	合計
26年度	63	103	132	298
25年度	37	102	89	228
24年度	55	83	70	208

◆年度別参加者数の推移

(単位：人)

区分	国際	全国	その他	合計
26年度	49,207	75,054	79,018	203,279
25年度	20,016	124,997	53,130	198,143
24年度	31,584	95,654	55,645	182,883

(2) 国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、過去最高の298件の開催となった。

また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用の成果として、27年度以降に合計102件（27年4月1日現在）のコンベンションが予定されている。

◆26年度開催の主な会議・大会

規模	名 称	開催時期	会 場	規模(外国国数、人数)
国際	International Conference on Advanced Applied Informatics (AAI2014)	H26年8月	北九州国際会議場	1,280人 (16カ国240人)
	10th Information Hiding and Multimedia Signal Processing (10th IH-MSP)	H26年9月	北九州国際会議場	616人 (12カ国450人)
	The 14th Asia Simulation Conference & The 33rd JSST Annual Conference (Asia Sim & JSST 2014)	H26年10月	北九州国際会議場	448人 (6カ国188人)
	第27回日本動物細胞工学会2014年度国際大会(JAACT2014)	H26年11月	北九州国際会議場	810人 (11カ国70人)
	第二回UNISEC世界大会	H26年11月	九州工業大学	606人 (33カ国387人)
	Joint 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems	H26年12月	北九州国際会議場	1,269人 (17カ国261人)
	第26回日本心エコー図学会学術集会	H27年3月	北九州国際会議場 北九州国際展示場	3,000人 (4カ国30人)
全国	日本家政学会第66回全国大会	H26年5月	北九州国際会議場	1,773人
	第49回地盤工学会全国大会	H26年7月	北九州国際会議場 西日本総合展示場	5,397人
	第47回全日本シニア体操競技選手権大会	H26年9月	北九州市立総合体育館	2,500人
	平成26年度全国ソフトバレーレディース&メンズ交流大会	H26年9月	北九州市立総合体育館	2,196人
	日本鋳造工学会第165回全国講演大会	H26年10月	北九州国際会議場 西日本総合展示場	2,576人
	地方創生全国協議会 第1回全国大会	H26年12月	西日本総合展示場	2,980人
九州	第51回九州外科学会・九州小児科外科学会・九州内分泌外科学会	H26年5月	北九州国際会議場	1,015人
	第5回西日本地区男女ペアグラウンド・ゴルフ大会	H26年5月	グリーンパーク	2,096人
	第51回化学関連支部合同九州大会	H26年6月	北九州国際会議場	1,000人
	第32回九州マーチングコンテスト 第32回九州小学校バンドフェスティバル	H26年10月	北九州市立総合体育館	12,824人
	第9回九州臨床工学会	H26年10月	北九州国際会議場	758人
	第9回九州放射線医療技術学術大会	H26年11月	北九州国際会議場	1,600人



第49回地盤工学会全国大会



小倉城でのユニークバニー

2 主催・共催事業

北九州市国際会議場の大型ハイビジョンを活用した映画の上映や俳句等の文化事業や異業種交流を目的とした事業や小倉駅新幹線口にぎわいづくり事業など、子どもから年長者まで幅広い年齢層を対象にした特色ある各種事業を実施した。

◆イベント・大会等の企画、開催（主催・共催） ※（ ）は25年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinこくら (旧コンベンションサロン「北九州泡盛会」)	H26年6月	延べ440人
	H26年11月	(延べ430人)
夏休みこどもシアター	H26年7月27日	464人 (343人)
冬休みこどもシアター	H26年12月21日	327人 (449人)
第14回全国女性俳句大会 in 北九州	H27年2月28日 ～3月1日	1,513人 (1,578人)
第23回北九州将棋フェスティバル	H27年3月21～22日	710人 (748人)

III 公3・収1・収2：貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

（1）既存利用者の利用定着化及び過去の利用者の利用復活

過去の展示場の顧客データを分析、利用頻度が減少等している顧客に対し、定期訪問による施設利用の働きかけや集客支援などの提案営業を実施した。

（2）新規利用者の開拓

16件の新規展示会やイベント等を開催した。今後は新規利用者の定着化に向けたフォローを行うほか、コンサート、ゲーム大会、スポーツ会場、試験会場など新規分野を中心に積極的な営業を展開する。また、イベント主催者とテレビ事業部との連携体制を構築し、会場利用に向けた情報交換を行っていく。

（3）貸し会議室の営業実施

近隣の貸し会議室との競争が激しくなっている北九州国際会議場の貸し会議室について積極的な営業を行い、長期間の利用者を誘致することができた。

◆26年度 新規及び利用が復活した展示会・見本市等の誘致実績

催事名	会期
住まいの大リフォーム博	H26年4月12日～13日
人間国宝 北村武賀展	H26年4月24日～26日
DIS Power Day 2014 in 北九州	H26年5月15日
小倉北区エリア夏向け商材展示商談会	H26年5月21日
御節食材展示商談会	H26年6月25日
ファンタシースター感謝祭2014	H26年6月28日
マッサージチェアーアウトレット決算セール	H26年8月2日～4日
平成26年度介護支援専門員専門Ⅰ・更新前期研修	H26年8月12日
中小企業経営者・人材採用担当者向けセミナー	H26年9月4日

TAIYOファニチャーメッセ in KOKURA 2014	H26年9月20日～23日
住まいの大リフォーム博	H26年9月20日～23日
年末商材展示商談会	H26年10月16日
九州・山口 食の商談会 in 北九州	H26年10月27日
ひびしんビジネスフェア2014	H26年11月19日
インテリアフェア in 北九州	H26年12月6日～7日
第3回麻生公務員専門学校学園祭 冬華祭	H26年12月18日～19日
JLAC2015	H27年1月18日
創業補助金説明会	H27年3月14日

2 閑散期対策等のイベントコーディネート

（1）閑散期対策にぎわいイベント

夏季・冬季ににぎわいイベントを実施した。特に夏季に実施した「からだのひみつ大冒険2014」は、当協会では初めて1ヶ月というロングラン開催に踏み切ったイベントであったが、12万人を超す入場者があり大成功を収めた。

（2）ビジネスイベントのコーディネート

デジタルものづくりクリエーターの祭典「北九州モノカフェ2014」（11月）や6次産業化をテーマにした商談販売型展示会の「九州の食EXPO」（3月）は「北九州EXPOフリマ」と同時開催することで集客の相乗効果を生み出すことができた。また「九州の食EXPO」については、主催の同実行委員会に企画から協力する形で参画し、コーディネートを行うことで、誘致開催することができた。

◆26年度 閑散期対策・ビジネスイベント等

催事名	会期	入場者数
プラレール博 in KITAKYUSYU	7/18～22	43,503名
からだのひみつ大冒険2014	8/1～31	121,257名
北九州モノカフェ2014	11/15～16	5,000名
第2回北九州EXPOフリマ	11/16	5,340名
お正月だよ！ウルトラマン全員集合！ in 北九州	1/2～12	20,332名
恐竜ワールド in 北九州	1/10～12	28,016名
九州の食EXPO	3/20～21	11,100名
第3回北九州EXPOフリマ	3/21	10,000名
合 計		244,548名



からだのひみつ大冒険2014



恐竜ワールド in 北九州

IV 公1・公2・公3・収1：広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

インターネットやリーフレットなど、様々な広報媒体を組み合わせるメディアミックスの手法を活用し、協会施設やイベントのPRを行い、施設利用者および来場者の掘り起こしに取り組んだ。また、ホームページについては見やすく迅速な情報発信ができるようリニューアルに向け準備を行ったほか、JR小倉駅構内に設置している催事案内板を見やすくリニューアルした。



リニューアルした催事案内板

2 地域連携

小倉駅新幹線口エリアの地域振興団体と共同で、異業種交流会や地域清掃イベント等を行うなど、地域の一体感形成に向けた活動やにぎわいづくりにも取り組んだ。

さらにJR主要駅に近接しているという施設の特徴を生かすため、JR九州との連携による、効果的な主催事業等のPRを行った。



小倉まちづくりミーティング 泡盛ナイト



Loveあさの クリーンアップ活動

V 公3・収1・収2：管理・運営

1 お客様満足度の向上

(1) サービスの向上

来場者の導線をわかり易くするため、専門家の視点を取り入れたサイン計画づくりに着手したほか、公衆無線LANの利用者の声を参考にした不都合箇所の改善、現場でのツール作成の支援や消耗品の提供等、お客様の安心と信頼を得る取り組みを行った。

(2) 職員の資質・能力の向上

専門講師を招いた接遇マナーなどの職場内研修、「国際会議場施設協議会」や「全国展示場連絡協議会」の担当者レベルの実務セミナーへの参加等を行った。

実務面でも日頃の現場での経験を積むことで職員の危機管理に対する意識とスキルをさらに高めることができた。

2 利用料金の見直し

施設の利用用途の拡大、稼働率の向上を図るため、他都市の施設の料金体系や減免措置、割引制度も参考にしながら、料金体系の見直しについて、引き続き北九州市と協議を進めてきた。

その中で、スポーツ利用及び名古屋市の施設との相互利用割引については具体的に特別料金制度を新設した。

3 管理業務の効率化

消費電力の削減による電力使用料金の低減や、メーカー保証期間を勘案した上で点検回数を改めるなど委託費全般について節減に努めた。

4 施設の改修等

お客様の利便性、安全性の向上等を図るため、施設設備の改修更新等を行った。

*展示場本館：雨漏れ防止と消防設備の改修等工事、

耐震診断結果に基づく改修工事時期等の検討

*展示場新館：照明・美術バトンのロープ、ケーブル、巻上げ機改修等工事

*国際会議場：非常放送設備更新、テーブルおよび椅子等備品類更新等

5 施設の稼働率等

◆西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
26年度	70	277	78.7	40
25年度	67	240	65.8	32
24年度	82	251	68.8	27

◆西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
26年度	159	281	81.7	46
25年度	170	284	78.2	50
24年度	162	282	77.3	45

◆北九州国際会議場の利用状況

区分	件数 (件)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	入場者数 (万人)
26年度	577	321	91.5	7
25年度	513	317	88.3	7
24年度	588	320	88.9	7

6 指定管理

指定管理期間（26年度から30年度）の初年度であった26年度は、指定管理計画に掲げた目標（来場者数（展示場・会議場）75万人、コンベンション誘致件数185件など）を概ね達成（来場者数93万人、コンベンション誘致件数250件など）した。

<参考>平成26年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件数	参加人数	経済波及効果（間接・雇用効果を含む）
会議・大会等	298件	203,279名	10,997百万円
見本市・展示会・イベント	19件	440,541名	5,049百万円
合計	317件	643,820名	16,046百万円

※開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

①北九州市MICE誘致推進本部事務局（北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会）が誘致・開催支援・実施したもの。

②北九州市地域以上を参加規模とするもの。

※経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。